

發行兼編輯人 川崎文治  
 福島縣石城郡平町長橋町廿五番地  
 發行所 常盤毎日新聞社

# 常盤新聞

定部金貳拾五圓  
 一月金貳拾五圓  
 三月金七拾五圓  
 半年金一拾三拾五圓  
 一年金二拾五圓

印刷所 本報印刷部

刊夕日九十二月七

漆器指物 (和)

和洋漆器店

目丁一町車  
 番五〇四話電

常盤文藝 雜觀 宮田明愛

涼しげな白バラソルの波に人大うねり行、登學の朝に

表現派の素敵なバラソルさせる人は洋品店の娘にてあり

駄々つ子の小使ねたるま書どきアイスクリームやのいや聲高き

まつ黒なバナナ一山拾銭大安賣半分も食へす何が安いぞ

あはれ！若し母よ道中の小車に難かれし子をすかす姿の

洋服の店しらぎぬにゆかた地に飾れるれば暑さおぼゆ

白洋服日にけにふえて街の軒行く人多く陽射な避けつ

大谷時計店

夏帽子  
 洋傘

平町三丁目電話一九番

大谷洋品部

逸獨 高級眼鏡

常盤屋時計店

平町一丁目電話三三九番

弊店眼鏡部は各國品多敷取扱へ電力應用で速時調整します

代價拾錢 藤田家傳

許官正明目

藤田榮助

平町電話三三六番

常盤毎日新聞

蠅の害毒と驅除法

醫學博士 宮島幹之助氏談

(三)

其處で一層よく之れを驅除するには臺所の硝子窓、便所の障子などに除蟲菊粉を撒布して置けば、蠅は其の粉末に接觸し、其中に含まれて居る揮發性の物質の爲めに斃死するであらう。此の粉末は人體には有害ではないから安心して、毎朝便所の障子などに振り撒いて置くがよい。

蠅の成蟲を驅除する事は却々手数の掛るものである

紛失廣告

去る廿三日夜野木玉峰氏後援會と記せる半紙二ツ折帳面紛失致しました就ては其れを利用致し會員募集或ひは集金等致す者有るかも知れませんが當會にては外交員等は一切使用致しませんから御注意迄に本廣告に及びましたもし右の帳面御拾ひの方は謝禮致しますから古鍛冶町九十一番地野木玉峰へ御届け下されたし

七月廿九日 平町長橋町

うぜん まつや

謹んで申し上げます

昨日の丑の日にはうなごんの御注文が續々と相次ぎまして更らに補充した鰻も賣切となり誠に申譯のない事ながら遂に止むなく御注文をお断りした向きも多かつたので御座います、うなごんは當家最初の試みでありましたのに斯くも繁昌を極め殊に美味である割合には値段が安いとお賞めを戴きました事は、御量引下さるお客様方の有難いお心持に基く事は申す迄も御座います。今更らながら「常盤毎日新聞」の廣告の効果が偉大である事に一驚致しました。

此事に力を得まして第二の丑の日(八月九日)には勿論常盤の日にも一層豊富に鰻を用意し腕によりかけまして御注文に應ずる事と致しますから是非相變らず御引立下さいます様、伏してお願ひ申上げる次第で御座います

モト一ル

電氣機械器具各種材料販賣  
 電燈電力工事設計並ニ請負

製作ハ日立製作所

販賣ハ磐城工業商會

株式會社日立製作所特約店  
 東京電氣株式會社特約店

器歴變ルト一モの  
 すまし致を理修の  
 目丁四町平線警常  
 番八一一話電  
 會商業工城磐  
 助治佐村中

内科科入) 平町紺屋町  
 小兒科科 藤沼醫院  
 淋病科科 (需應院入)  
 梅毒科科 電話五〇七番

から、其蛆の時代に出来る丈撲滅手段を講じなければならぬが、夫れには塵埃溜等に殺蟲劑を施し、嚴重に其の發生を防止すべきものである。

蠅は飛翔力を有するから可なり遠方に迄擴がり、従つて、一二の人家のみが之れを退治しようとしても、其の効果少く、一町内一區内協同して、其の殲滅に努力すべき必要がある。

最後に蠅の撲滅に就いて参考となる事は、曾て滿洲の奉天城内に蠅が発生し、傳染病が猖獗を極めた際、東三省保安司令たる張作霖は早速嚴命を下して、料理

株式會社 星製藥配給所

自大正十四年一月一日  
 至大正十四年六月三十日  
 第壹期營業報告書

資本金 七五、〇〇〇、〇〇〇  
 未拂込資本金 七五、〇〇〇、〇〇〇  
 商 品 勘 定 一五、九三、〇七五  
 得 意 先 勘 定 七、三三、七〇〇  
 營 業 權 繼 承 費 四、〇〇〇、〇〇〇  
 自 助 會 積 立 金 三、〇〇〇、〇〇〇  
 銀 行 預 金 二、三三、二九〇  
 營 業 用 什 器 五、六、〇〇〇  
 創 立 費 一、五、〇〇〇  
 現 金 在 高 八、九、八五五  
 合 計 一〇九、三九、〇九〇

資 本 金 一〇〇、〇〇〇、〇〇〇  
 仕 入 先 勘 定 八、七三、四三〇  
 當 期 純 益 金 六、三、六〇〇  
 合 計 一〇九、三九、〇九〇

損 益

一金四三、〇〇〇圓(支) 當期純益金  
 一金三、七〇〇圓(支) 當期純損金  
 金六、六九〇圓(支) 當期純損金  
 内金三、七〇〇圓(支) 當期純損金  
 再 差 引 創 立 費 領 却  
 金四、九九〇圓(支) 當期純損金  
 大正十四年六月參拾日  
 株式會社 星製藥配給所  
 取締役社長 石井兼藏  
 專務取締役 駒木根忠三  
 取 締 役 荒 義 雄  
 同 片 寄 伊 之 次 郎  
 同 永 山 德 一  
 同 監 査 役 山 崎 登  
 同 早 川 清 久  
 同 相 談 役 鈴 木 堅 助  
 同 金 成 通  
 同 問 阿 部 康 五 郎  
 同 郡 豊 太 郎

店、飲食店に於いて一定の期間内、蠅を捕殺せしめ、若し屋内に蠅を發見した場合には重い罰金を課した所忽ち傳染病が終熄したさうである。民度の低い地方では斯かる武斷的方法も、亦必要があらう。

即ち住民の進歩した所では、爲政者は各人の理性に訴へ、協同戮力の下に、害敵の退治を行ふがよ、又然らざる所では、武斷的、官僚的態度を以て否應なじに驅除を遂行すべきであるが、扱て平町民には何れの方法を適用したものであらうか。(完)

### 本紙五百號記念の催し

—自轉車遠乗會—  
(日時)八月九日(集合)午前六時半迄に尼子橋上へ(目的地)四倉海岸海氣館(余興)福引其他の催しあり(會費)一圓二十錢、ビール付晝食(申込締切)八月六日迄

—ハイ取競争—  
本紙五百號當日(八月三日)より三日間に捕獲せる蠅を六日平商業學校々々天幕張中に持ち集り審査の上最高捕獲者に賞金五圓、各區を比較し最高の捕獲に達せる區の衛生費に賞金十圓を贈呈。此催しには平警察署、平町役場、平衛生會後援す

### 兒童の教養に

#### 留意する父兄達へ

##### 郡當局への訴へ

近來兒童の教育上について父兄間に大分留意されて來たその結果父兄から石城郡當局にもいろいろな事を訴へて來る様になつたがそれについて一當局は最近某小學校の

#### 教師と 父兄の懇談

會で父兄からの訴へによると未だに受持兒童(尋常一年生の姓名を熟知せず)イロハ順で席を定めてる教師があるあれでは視力聴力等の不完全な兒童に對して適切な 教授も出來ないし數ヶ月も経た今日それではあまりに無責任であるまいかといふのだ次は學校で不出來の學科は家庭でよく教へてもらひたいといふ

先生方の一考を煩はす

#### 家庭に

對してはいざ知らず一般の家庭に對しては無理な注文ではあるまいかそれから授業振を見て呉れといふので見ると兒童に教へるといふよりは父兄が喜ぶ様に教へこれを得意がつて居らうといふがあの

#### 調子で

父兄の歡心を買ふ様な模様では……といふのである兎に角今の父兄は昔と違ふのであるから教員もその氣で實際に注意しなければならぬと思ふと語つてゐた

#### 澤渡堤防修繕

石城郡澤渡村消防組にては廿六日の農家休業日を利用して平

山組頭以下全員出勤好間川沿岸の堤防間七十間に亘り修繕工事を行つたと

### 自働車の後部に

#### ブラ下つて轆かる

親の注意が足りぬ  
草野地内で五歳の小兒が

廿八日午後四時頃平松ヶ岡公園園子亭の自働車が四倉から平町に向つて進行し來り草野村大字下神谷地内に差し懸つた際前方より四倉の自働車進み來つた爲め互に合圖を交はして徐行しつゝ摺れ違つた處突如四倉行自働車の后方にブラ下り居たる五才位の小兒が飛び降りし爲め園子亭の自働車は急停車せるも間に合はず是れに衝突轉倒せしめ后頭部と上唇に打撲裂傷を負はせるに至つたが自働車の疾走沿道の親達はよく子供達に注意をして置く必要があると櫻村平署長は語つた

### 湯本校新築

石畑地内へ

石城郡湯本町小學校は從來三校舎に分離してゐたが最近漸く兒童増加し來り狹隘を告げ多大の支障を來たすと共に將來の町發展の上より見ても校舎新築の必要に迫られたので經費五萬餘圓を以て新築する事に決定したがその敷地につき町會は二派に別れ一は現校舎敷地内に一は他の土地を買収してと兩派對峙し極度の紛擾を續けて來たが過般新議員の初町會開會の折り遂に町發展の上より同町石畑地内

### 倉庫から一俵の玄米を盗む

舊惡が露見

石城郡赤井村大字高萩運送店倉庫方西村繁之助(九)は本年三月中小川郷驛前倉庫内貯藏中の玄米二俵を盗んだ事發覺廿八日赤津駐在巡查に逮捕された

注意 明廿日は明治天皇祭、明後日は五百號記念事業準備の爲め休刊す

### 足が着いて

爲替から 窃盜犯の自白

石城郡内郷村大字高坂磐城炭礦坑夫大沼郡尾岐村生れ川島吉四郎(三)は去月十一日郷里にて十圓の郵便爲替を窃取し綴郵便局にて金を受取つた事から足が着き此程平署に捕はれ目下松本警部補取調中であるが、平町其他を荒して窃盜を働いた犯行十一件自白に及び現金廿五圓を始め金側懷中時計二個、自轉車二台、長靴一足外袂一枚其他の贓品を所持して居た由



家庭欄

### ごげ抜ききの妙薬

どんな小さいごげでも打込んだりしますと氣にかかりますし、又うみますと厄介なものです。殊に子供

丁目田地在甚しいので土壤改良の爲め肥料を施す向きに對しては一反歩一圓宛農會より補助する由であるが來月一日午後七時より銀泊町裏大野倉七氏宅にて土壤改良の講演會を開き野村柳農技師の講演ある由

### 小學同窓會

平第一校にて

平小學同窓會は一日午後一時から平第一小學校講堂にて開き役員の改選名士の講演會員の演説餘興琵琶等ある由にて會費は廿錢

### 阿部巡查轉勤

平署 在勤巡查阿部市治氏は昨廿

### 兎の耳

酒を嗜く木 新潟縣北魚沼郡城川村酒造業星野忠吉方酒倉脇にある約五百年を経た杉の幹から去る廿三日突然酒精分を多量に含んだ葉が湧出し今なほ滴々としたつて居る今から十年前一晝夜に約八合の酒精水量が湧出した事あり縣では央蹟名勝天然記念物調査會において『酒月』と命名して居たもので博物學者の大家南方熊楠氏も雜誌日本及び日本人に靈杉考證と題し天下に紹介したことがあ

### 平町人事

出生

△新川町五 玉木兼次郎氏長男英雄 △紺屋町五八 當時東京府豊島郡尾久町比佐文藏氏三男敦平 △舊城跡二 青沼淡夫氏二男康裕 △舊城跡二〇 及川幸三郎氏長女文子

婚姻

△伊達郡桂澤村大字柱田 宮口福治 (二五) 丁目酒井シヨ(二一)

死亡

△北目町九二 鈴木平助(七四) △月見町一三 高萩トシイ(四三) △才地路小一 田邊ヨシ子(四三) △銀泊町三一 駒組マサ(二六) △八幡小路三六 齊藤茂樹(五一)

### 一斗の米が 正味は八升

奸商の未検査米

最近磐越東線赤井、小川郷川前の各驛に亘つて不正米穀商現れ悪運送業者と結託して未齊検査米或ひは

重量不足 (その少きは一斗に付二升たらず)を盛んに輸出するのでその筋では目下取調中であるが今後ともかく不正米の輸出さるゝ時は石城米の聲價に係るべく頗る重大なる問題である、右につき安島検査所

長は語る『近頃不正米穀者が現れて未齊検査のものや

### 田地の衰へ

改良の要あり 町農會が補助

平町附近のレンジ栽培は土壤が酸化する爲め年々衰へる傾向があり長橋町と十五

つき立ての米をすぐ俵につめるため冷ると二升乃至三升位一斗について米が少いのです今後は發見次第嚴重に取調べて告發しようと思ひます、石城米の前途も考へずかゝる不正行為を取てなす者があるのは誠に遺憾に耐えませぬ」云々

レンジ栽培の